

倉敷・未来の継承

まちづくりの選択肢を残していく

日時 2017年12月2日 (土)

場所 倉敷町家トラスト
倉敷市東町1-21

人数 先着20名

13:00～14:00

NPO「倉敷町家トラスト」の10年を振り返る
中村泰典 (倉敷町家トラスト)

14:00～15:30

倉敷美観地区と周辺のまちあるき
－まちの姿、くらし、歴史と記憶－
中村泰典氏による案内

15:30～17:00

まちづくり談義－思想と空間の継承－
若者、研究者、地域の人々の総参加

17:00～19:00 倉敷の未来を語らう会

参加費：2500円、会場・倉敷町家トラスト
(コーディネーター 岩淵泰)

倉敷美観地区は、年間約300万人が訪れています。白壁の美しい町並みは、江戸時代から続いており、国から重要伝統的建造物群保存地区として選定されました。暮らしやすい町に向けた地域の思想を読み解くことが、本シンポジウムのテーマです。

景観まちづくりの先端を走ってきた倉敷美観地区ですが、日本国内外から観光客が訪れ、古い建物は減っており、新しい建物も建っています。暮らし、景観、そして、成長のバランスは、どこにあるのでしょうか。本シンポジウムは、第一に、まちづくりに取り組みながら、日本全国で均質的な風景になってしまっていること、第二に、都市開発が進む中で、次世代に渡すまちづくりの選択肢が狭められてきていることを、倉敷美観地区から検討します。

シンポジウムでは、倉敷町家トラストの中村泰典氏から景観まちづくりの展望と課題を伺った後、まちあるきを行います。若者、研究者、地域の人々との議論から地域の思想を明らかにし、継承を試みます。

■申込み・問い合わせ

連絡／岡山大学 地域総合研究センター 岩淵

iwabuchi@okayama-u.ac.jp

086-251-8541

当日は写真撮影をして主催者および共催者の広報に使用することがあります。撮影を希望されない場合はあらかじめご連絡ください。